

「すくすく育てほしい」

あぢが 議会だより

第101号 2017. 10. 28

平成 28 年度の決算審査 ・ ・ 2
緊急事態・松枯れが急増 ・ ・ 7

編集 小値賀町議会 広報常任委員会
発行責任者 小値賀町議会議長
電話 0959-56-3111

平成 28 年度 決算審査

10月10日から13日まで平成29年10月第2回会議を開催。平成28年度の決算を認定しました。

事業の実施効果は どげんじゃったと？

子育て世帯の支援として保育料全額補助（1060万円）
◎実質無料にした結果、こども園の利用者増と町内の雇用者増につながった。

こんな声・あんな声
『児童数が増えた結果、ゼロ歳児が入園できないで、困っている家庭がある。』
『無料にせず、雨漏りの改修などの費用にまわせばいいのに。』
『児童館を造ってほしい。』

大雨の時はバケツが活躍
ているが、町内の有資格者数も限られている。
◎無料化の影響で安全性などの面で保育がおろそかになってしまったら意味がない。

町の今後の対応

議会による現状の分析
◇子どもの年齢によって、実際に預かることができていない。
◇受け入れ時間が11時間と長いこともあり、従事者が不足している。
◇保育士確保の努力はし



（こども園の健やかふれあいまつり）



担い手公社運営費補助（2535万円）

◎農業の担い手を育成。平成29年5月に2人が研修し就農。1人は畜産。



（有効利用が望まれる担い手公社研修棟）

議会からの懸念

●指導員が今は不在のようだが、それでも研修はできるのか。

町の今後の対応

◇園芸部会の協力を得て、実際に農家さん宅で年間を通じた実地研修を行っている、これを持続

ていく。
◇指導員の募集は引き続き行う。
◇地域おこし協力隊のシステムを最初の1年間利用した計3年間の研修を引き続き行っていく。

農産物加工場建設事業 9950万円
農産物加工場機械購入費4099万円

こんな声・あんな声
『こんなに大きな加工場の必要があるの？』
『実際に稼働しているの？』

議会による現状の把握

●28年度は落花生の栽培面積を増やしたが、水不足や長雨により、品質・反収ともに低下した。
●現在は天候の様子を見ながら、原材料となる落花生の収穫を急いでいる。



（雨が多くて苦労しています）

町の今後の対応

◇加工施設の整備により作業は効率化する。
◇栽培管理に力を入れ、原材料を安定的に確保することを最重要課題とする。



（来年2月から本格的に稼働予定の農産物加工場）

ごみ焼却場大規模改修工事 3928万円

◎これにより5～7年ほどの延命化が図られた。

こんな声・あんな声
『ダイオキシンはもう大丈夫なの？』
『5～7年後はどうなるの？』

町の今後の対応

◇ごみ焼却場を新たに建設するには数十億円かかり、現実的ではない。
◇ごみが減れば他市町との共同処理も可能となるので、ごみ、特に生ごみを減らすよう、町民の皆さんに協力していただきたい。

議会による現状の把握

●ダイオキシン等の測定数値に異常はない。
●ごみの減量化のため、大型の生ゴミ処理機を試験的に3基設置している。（下の写真）



（生ゴミ以外は捨てないように）

決算特別委員会での主な質疑

【特別会計】

【国民健康保険事業】

問 相変わらず滞納が多いが。

答 過年度分で滞納者は 10 人減っているが、収納率は 97.24% です。これからは、差し押さえや競売も視野に、もっと収納対策の強化を図ります。



【介護保険事業】

問 未収金が生じている理由は？

答 未収額は 109 万円、収納率は 98.2%。65 歳になった年度は介護保険料の納入方法が変わるが、その説明不足もあったと思います。今後は文書だけではなく、直接訪問するなどして周知していきます。

【後期高齢者医療事業】

問 医療給付費の状況と滞納は？

答 町全体で 4 億 603 万円、被保険者は 720 人、一人当たり 55 万 6000 円。滞納は 2 人で 6 万 4000 円です。



【簡易水道事業】

問 人口が減っているのに水道料収入が増えているのはなぜ？

答 下水道の接続率^注が高くなったため、水道料収入も増えたものと思われます。徴収努力により、滞納は 8442 万円のうち 12 万 8000 円だけです。

(注釈) 下水道の接続率：下水道を利用できる地域の家のうち、実際に下水道に接続した家の割合のこと。

【下水道事業】

問 接続率（接続戸数で 71.1%）が伸び悩んでいるのはなぜか。

答 接続しなくても今のままでいいと考えているお年寄りの世帯が多いからだと思います。接続人口^注は増えていて、成果は出ています。

(注釈) 接続人口：下水道を利用できる地域のうち、実際に下水道に接続した家に住む人数のこと。



【渡船事業】

問 古い「第 3 はまゆう」はどうするのか。

答 有効利用を検討していたが難しそうなので、処分する方向で早めに手続きを進めます。

【監査委員の決算審査意見】

町財政は、少子高齢化や人口減少等の影響で厳しい状況が続くと思われ、経営戦略を立て、予算の確保に努めていく必要がある。

十分な精査と評価による事業の検証、見直し等を行い、将来の社会情勢の変化に対応できる能力を養い、住民福祉の増進を図り、地方公共団体としての自主性、自立性を十分発揮することを切望する。

決算審査とは……
予算どおりに執行したか、どのような効果があつたのか、目的と効果にズレがないか、効率的に事業が行われているかなどを審査するものです。そして、反省事項なり改善事業をまとめます。



【一般会計】

問 町税や固定資産税の滞納が今年も多い。努力はしているのか。

答 条例に基づいて適切に処理しており、実際に前年度までの分を支払ってもらっています。現在、債権管理台帳を整備中で、完成後は大口の滞納者に対し、差し押さえや競売も行なっていきます。



(決算特別委員会の様子)

問 (株) 小値賀町観光まちづくり公社の解散に伴い、出資金の 20 万円に対し 15 万 2000 円しか返還されないのはどうしてか。

答 直前の経営状況は把握していないが、結果的には資本金を食い込んでいて、トータルで赤字だったこととなります。一律 76% の返還率でした。



(真剣なやりとりが続きます)

問 独居老人ベルの設置状況は？

答 有線式と無線式があり、それぞれ難点があるようです。民生委員さんの協力を得ながら新しい方法を考えていきます。

問 地域おこし協力隊の実績は？

答 六島では、耕作放棄地の解消と再生を目指し、現在も 2 人が活動しています。再生には地元住民の協力は欠かせず、今後どうするか、隊員からも意向を聞き協議しています。野崎島自然体験受け入れでは、2 人をアイランドツーリズム協会に配置しました。

問 海岸の漂着ごみの処理についてはどう考えているか。

答 地元の海岸は地元が守りたいという意向は聞いています。りっぱカンパニーズや県立大学の学生たちのボランティア精神も生かし、法令を守りながら、より良い処理方法を検討します。



(赤浜海岸に漂着した大量のごみ)

問 試験養殖中のエゾアワビは順調に育っているのか。

答 県の栽培公社から 2cm 前後の稚貝を購入。3 年目で平均 5cm くらい。約 2700 個。これからは海面での飼育も行つて、陸上飼育との違いを観察していきます。エゾアワビは放流せず、そのまま食用として出荷する予定です。



(佐世保魚市・小値賀の魚のセリの様子)

問 漁業研修生の研修状況は。

答 この春に研修をいったん終了し、新たな 2 年間の研修が始まっています。親方的な漁師さんのお宅に住み込んで、一人前の漁師を目指しているようです。

問 観光費の予算があまり使われなかったのはなぜか（1 億 1621 万円のうちの 2296 万円）。

答 しまとく通貨の積立金、おもてなし協議会への負担金、佐世保・小値賀観光圏への負担金などが減額したためです。

緊急事態発生

島の緑が茶色に変色 松枯れ被害広がる



(納島の松枯れ地帯を調査)

まずは現場から
今年の松枯れは、いつもと違うという声を耳にするようになり、産業建設常任委員会では、納島と本島の本城岳、愛宕山方面の現地視察を行いました。

松枯れが大変なことに

産業建設常任委員会活動報告



(地元の説明を受ける委員)

納島の被害に驚く
納島では、会長の山元さんに被害の多い松林まで案内していただきましたが、あまりの枯れっぷりに委員一同驚きを隠せません。

会長の説明では、今年の8月頃から枯れ始めたそうです。

納島の松は戦後、毎年数百本つつ植林してきたもので、今回のような松枯れは初めてのことです。



(愛宕山から本城岳を望む)



(被害の跡を確認)

原因は不明だが
松枯れの原因にはいろいろな説がありますが、今年の松枯れの広がり具合は、県の担当者も首をかしげていると聞きます。

現在の状況を少しでも食い止めるため、一刻も早く被害木を切り倒し、焼却等の対策を推し進める必要があります。

委員会として
これからも松枯れの現状をしっかりと認識し、その課題と対策を町長部局とも協議し、見守っていくことを確認しました。

一般会計補正予算第2号～第4号は次のとおり可決しました

平成29年8月会議

一般会計補正予算（第2号）

歳入歳出それぞれ1億5170万円を追加して
予算総額を28億7990万円に

主な歳入補正

地方交付税	6034万5000円
国庫支出金	1839万2000円
町債	7010万円

主な歳出補正

総務費	8337万6000円
農林水産業費	6402万4000円
商工費	320万円

総務費では、公民館建設基金積立金に5000万円、減債基金積立金^{注釈}に2666万7000円が主なものです。

農林水産業費の補正には、あわび館内に設置予定の水産加工場整備に6000万円余りの事業費が見込まれています。

また、漁船エンジンのオーバーホールの助成金300万円も含まれています。この補助により、当町の漁業振興が少しでも活性化することを願います。

商工費の320万円は、おぢか国際音楽祭への補助金です。音楽祭のレベルがますます上がるように期待します。

^(注釈) 減債基金積立金：町債などの償還に備えて償還金を積み立てる基金のこと。積み立てられた資金は町の借金返済に充てられます。

平成29年10月会議

一般会計補正予算（第3号）

歳入歳出それぞれ400万円を追加して
予算総額を28億8390万円に

主な歳入補正	主な歳出補正
県支出金 400万円	総務費 400万円

この補正予算は、今回の第48回衆議院議員総選挙に要する事務費等の費用です。

小さな自治体とはいえ、400万円もの費用がかかります。しっかり投票率を上げて国民の責任を果たしたいものです。

平成29年10月第2回会議

一般会計補正予算（第4号）

歳入歳出それぞれ1億140万円を追加して
予算総額を29億8530万円に

主な歳入補正

県支出金	3699万5000円
繰越金	6440万5000円

主な歳出補正

農林水産業費	8404万円
--------	--------

今年に入って松枯れ被害が急激に広がっています。納島は約700本、本島が1000本以上。

この松枯れ被害を食い止めるため（主に伐倒や焼却作業など）の費用として、補正予算が提出されました。

町長は提案理由の中で「総力をあげて取り組む」とこの問題に対する姿勢を示しました。

松枯れの原因は気候変動、大気汚染など、いろいろと取りざたされています。原因が何であれ、今の最悪の状態を切り抜けることが急がれます。

今後も松枯れ対策の大きな課題については継続的な調査研究を続けていきたいと思っています。

九州商船関連の動き

- ◎新たな高速船は建造中。
- ◎フェリーの新船建造は、計画へ向けた打ち合わせなどが始まっています。

現時点での就航予定は

新高速船 平成 30 年（来年）7 月
新船フェリー 平成 31 年 4 月



（フェリーなるしお=1987 年 5 月就航）



（ボーディングブリッジ／イメージ）



高速船、フェリーの母港をどこにするか、運航ダイヤ案等について、現在協議をしています。

議会からは、所要時間の短縮、椅子席、キッズスペースや多目的に使用可能な個室の設置、売店の設置、展望を良くしてほしい等の要望書を 9 月 19 日に九州商船側に提出しました。

法律で、これから造る新船はバリアフリー対応にしなければならないことになっており、船体のバリアフリー化は図られることになります。

けれど、船への乗り降りの際のタラップなど一部不便さは残ってしまいます。

そこで、それらを解消できるボーディングブリッジ（本格的な風雨防止、段差解消の乗降橋）の設置も視野に入れ、議会ではこれからも要望活動を続けていきます。

笛吹地区のお祭りの「稚児行列」の様子です。高齢化率が県内で断然トップの小値賀町ですが、小さな子どもや若い人もたくさんいます。家族や親せきだけでなく、島の皆が子どもの成長を見守っています。子どもだけでなく、皆が将来も安全で安心して、ずっと小値賀で暮らしていける環境を守ることを、整えることが、今を生きる私たちの義務ではないでしょうか。



（表紙の写真）
「すくすく育ってほしい」



編集後記

松枯れが広がっています。例年は、200本前後が今年は2000本余りが枯れていきます。

島の大事な防風林であり、魚付林の役目もある松林が枯れることは自然環境の面からも絶対に食い止めなければいけません。

原因は、大気汚染、気候温暖化、土壌の酸性化など、いろいろといわれていますが、とにかく今やるべきことは、伐倒など、可能な限りの対策を早急に実行し、少しでも松林を残す努力を惜しまないことです。

六島の松は全滅しました。次が納島とならないように、しっかりと見守っていきたいと思っています。

横山弘藏